

# 調査結果の概要

## 1 概況

事業所数は5,649事業所、前年比▲1.3%で2年連続の減少、従業者数は18万1,667人、前年比+0.4%で7年ぶりの増加、製造品出荷額等は4兆4,051億円、前年比+0.9%で4年連続の増加、付加価値額は1兆6,061億円、前年比▲1.3%で2年連続の減少となりました。

なお、従業者1人当たり付加価値額は884万円、前年比▲1.7%で2年連続の減少となりました。

表1 平成25年製造業の動向（従業者4人以上の事業所）

区分	実数		増減（前年比）	全国前年比
	H24年	H25年		
事業所数	5,725 事業所	5,649 事業所	▲76事業所(▲1.3%) 2年連続の減少	▲3.8%
従業者数	180,900 人	181,667 人	+767人(+0.4%) 7年ぶりの増加	▲0.3%
製造品出荷額等	4兆3,665 億円	4兆4,051 億円	+386億円(+0.9%) 4年連続の増加	+1.2%
付加価値額	1兆6,272 億円	1兆6,061 億円	▲211億円(▲1.3%) 2年連続の減少	+2.0%
[参考] 従業者1人当たり付加価値額	900 万円	884 万円	▲15万円(▲1.7%) 2年連続の減少	+2.3%

表2 新潟県の全国順位（従業者4人以上の事業所）

区分	H24年	H25年
事業所数	11位（全国シェア2.6%）	10位（全国シェア2.7%）
従業者数	17位（同 2.4%）	17位（同 2.5%）
製造品出荷額等	23位（同 1.5%）	23位（同 1.5%）
付加価値額	20位（同 1.8%）	21位（同 1.8%）

図1 新潟県の主要産業の構成（従業者4人以上の事業所）

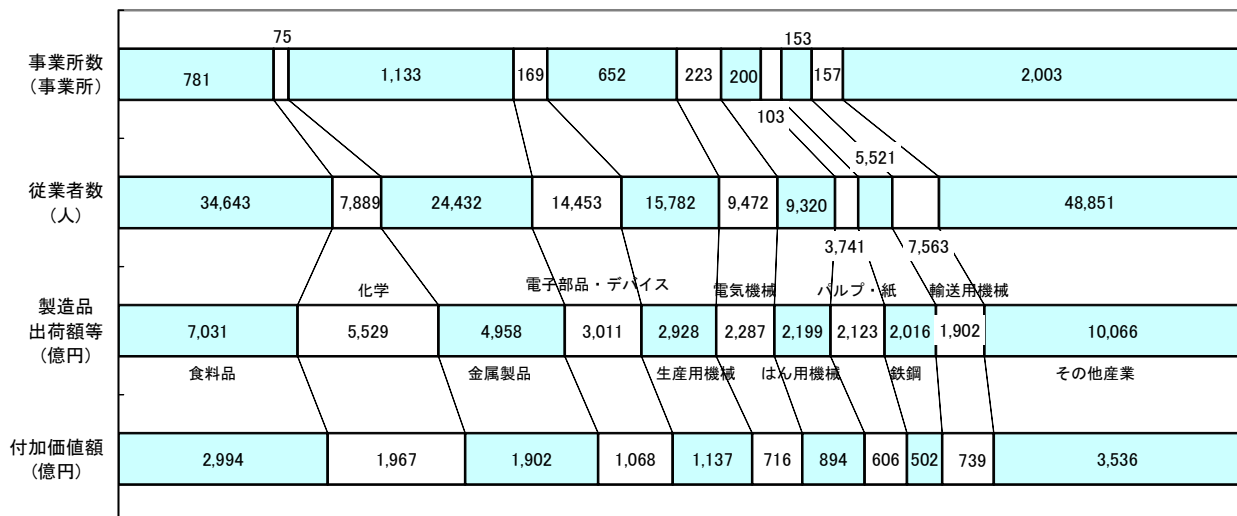


図2 製造業の事業所数・従業者数の年次別推移（従業者4人以上の事業所）

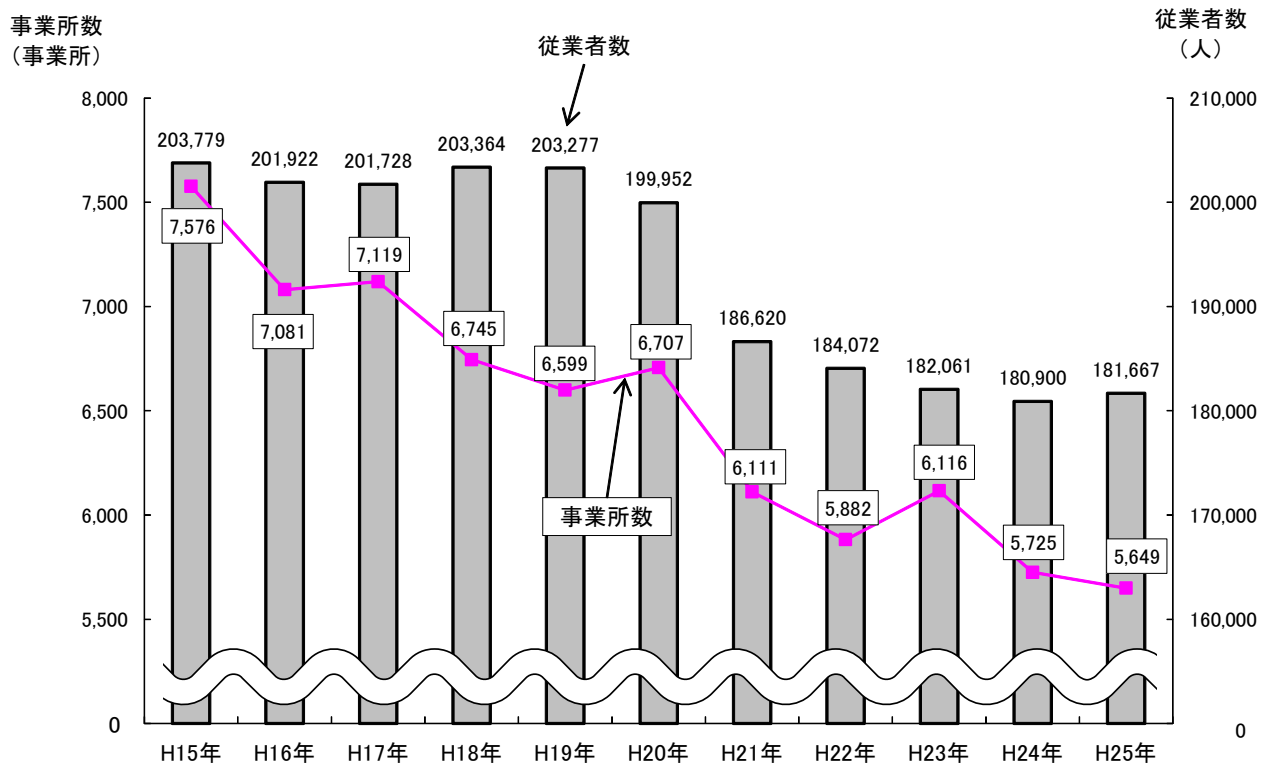
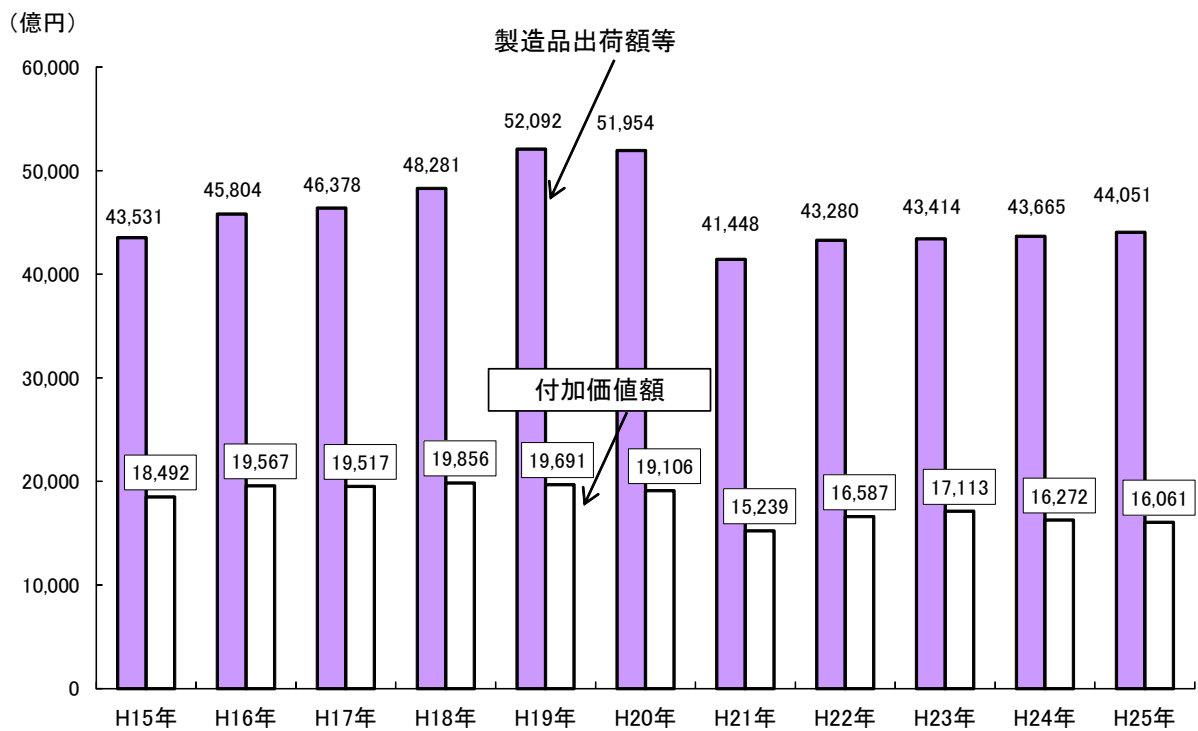


図3 製造業の製造品出荷額等及び付加価値額の年次別推移（従業者4人以上の事業所）



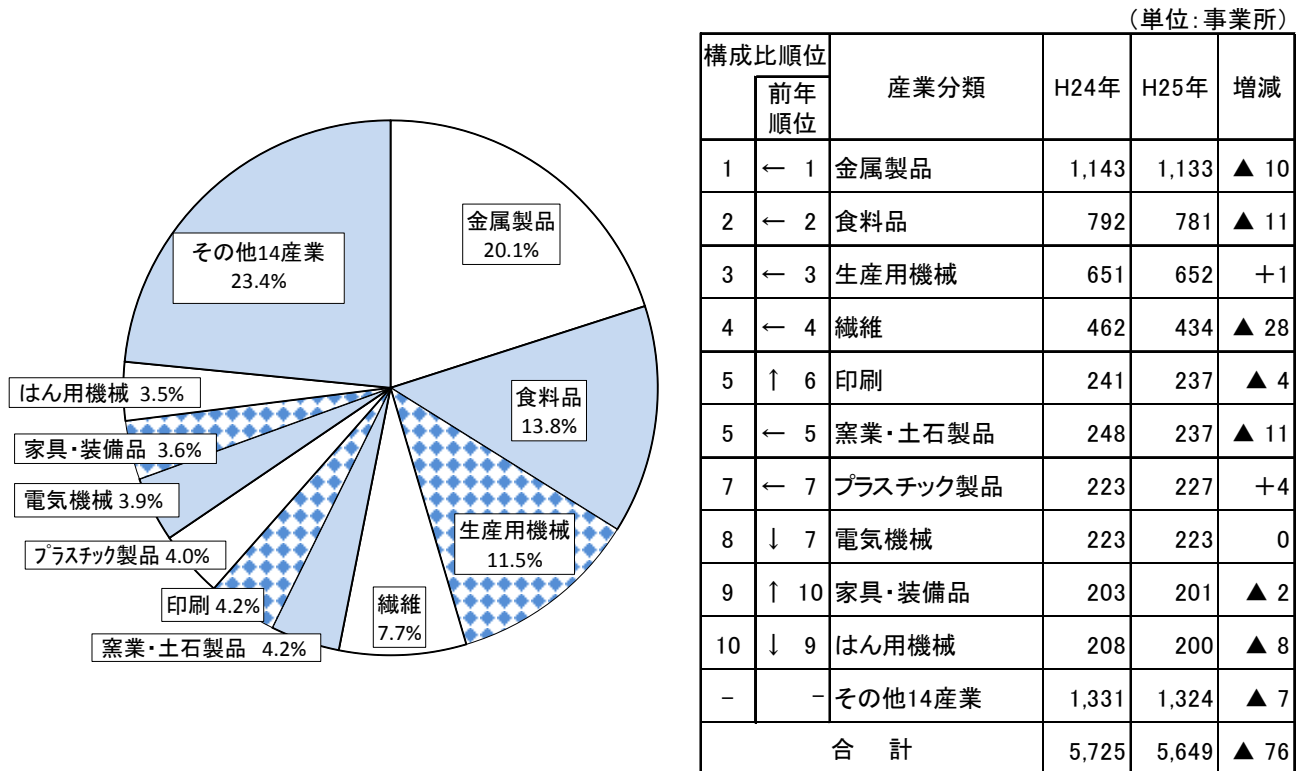
## 2 産業別の状況

### (1) 事業所数 ～上位3産業は金属製品、食料品、生産用機械～

事業所数は5,649事業所で76事業所減少（前年比▲1.3%）しました。

産業別で事業所数が最も多いのは、金属製品で1,133事業所（構成比20.1%）、次いで食料品が781事業所（13.8%）、生産用機械が652事業所（11.5%）の順となっており、上位3産業は前年と同じ順位で、全体の4割以上（45.4%）を占めています。

図4 事業所数の産業別状況（従業者4人以上の事業所・構成比順）



増加したのは、飲料・たばこが+5事業所（前年比+4.3%）、プラスチック製品が+4事業所（+1.8%）、情報通信機械が+4事業所（+8.9%）等、24産業中7産業でした。減少したのは、繊維が▲28事業所（▲6.1%）、食料品が▲11事業所（▲1.4%）、窯業・土石製品が▲11事業所（▲4.4%）等、12産業でした。木材・木製品、石油・石炭製品、ゴム製品、電気機械及びその他製造は増減ありませんでした。

表3 事業所数の増減の大きな産業（従業者4人以上の事業所）

(単位:事業所、前年比は%)

増加					減少				
産業	H24	H25	増加数	前年比	産業	H24	H25	減少数	前年比
飲料・たばこ	116	121	+5	+4.3	繊維	462	434	▲ 28	▲ 6.1
プラスチック製品	223	227	+4	+1.8	食料品	792	781	▲ 11	▲ 1.4
情報通信機械	45	49	+4	+8.9	窯業・土石製品	248	237	▲ 11	▲ 4.4
化学	72	75	+3	+4.2	金属製品	1,143	1,133	▲ 10	▲ 0.9
非鉄金属	50	51	+1	+2.0	はん用機械	208	200	▲ 8	▲ 3.8
生産用機械	651	652	+1	+0.2	電子部品・デバイス	177	169	▲ 8	▲ 4.5
輸送用機械	156	157	+1	+0.6					

(増減の大きな上位5産業)

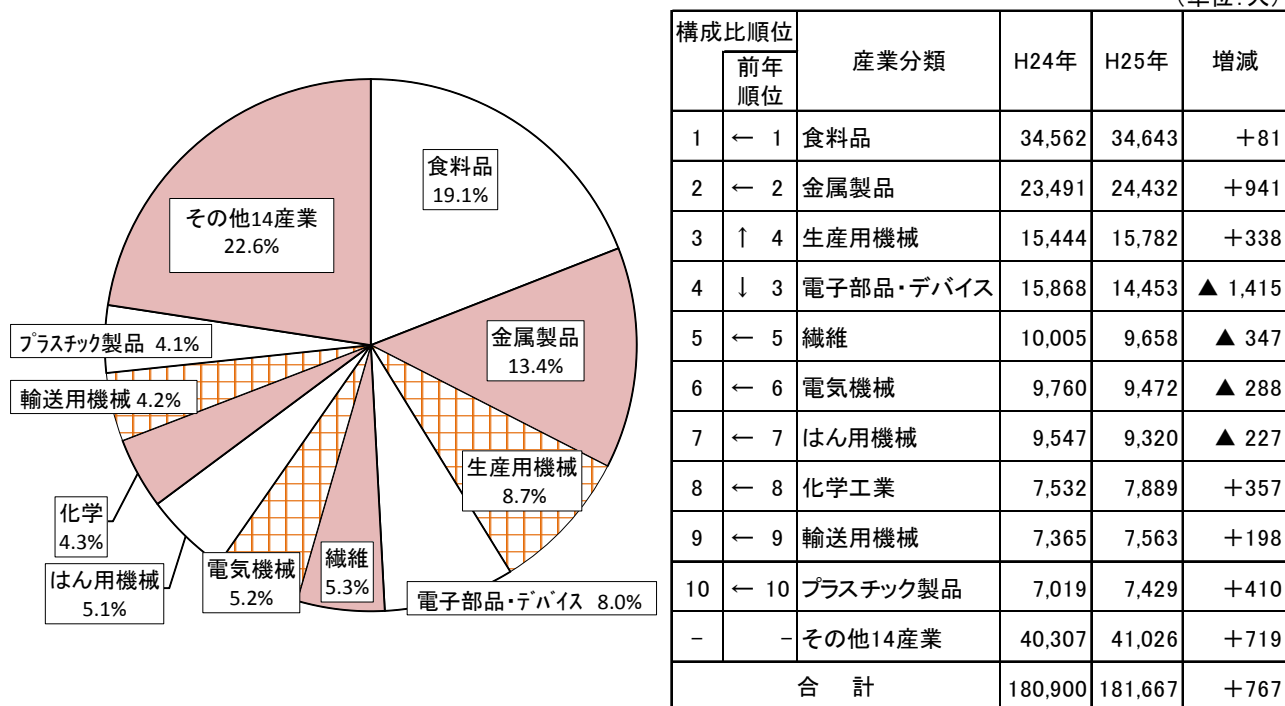
## (2) 従業者数 ～上位3産業は食料品、金属製品、生産用機械～

従業者数は181,677人で767人増加（前年比+0.4%）しました。

産業別で従業者数が最も多いのは、食料品で34,643人（構成比19.1%）、次いで金属製品が24,432人（13.4%）、生産用機械が15,782人（8.7%）の順となっており、上位3産業で全体の4割以上（41.2%）を占めています。

図5 従業者数の産業別状況（従業者4人以上の事業所・構成比順）

（単位：人）



増加したのは、金属製品が+941人（前年比+4.0%）、プラスチック製品が+410人（+5.8%）、業務用機械が+384人（+10.0%）等、24産業中12産業でした。減少したのは、電子部品・デバイスが▲1,415人（▲8.9%）、繊維が▲347人（▲3.5%）、電気機械が▲288人（▲3.0%）等、12産業でした。

表4 従業者数の増減の大きな産業（従業者4人以上の事業所）

（単位：人、前年比は%）

増 加					減 少				
産 業	H24	H25	増加数	前年比	産 業	H24	H25	減少数	前年比
金属製品	23,491	24,432	+941	+4.0	電子部品・デバイス	15,868	14,453	▲ 1,415	▲ 8.9
プラスチック製品	7,019	7,429	+410	+5.8	繊維	10,005	9,658	▲ 347	▲ 3.5
業務用機械	3,851	4,235	+384	+10.0	電気機械	9,760	9,472	▲ 288	▲ 3.0
化学	7,532	7,889	+357	+4.7	はん用機械	9,547	9,320	▲ 227	▲ 2.4
生産用機械	15,444	15,782	+338	+2.2	窯業・土石製品	4,814	4,722	▲ 92	▲ 1.9

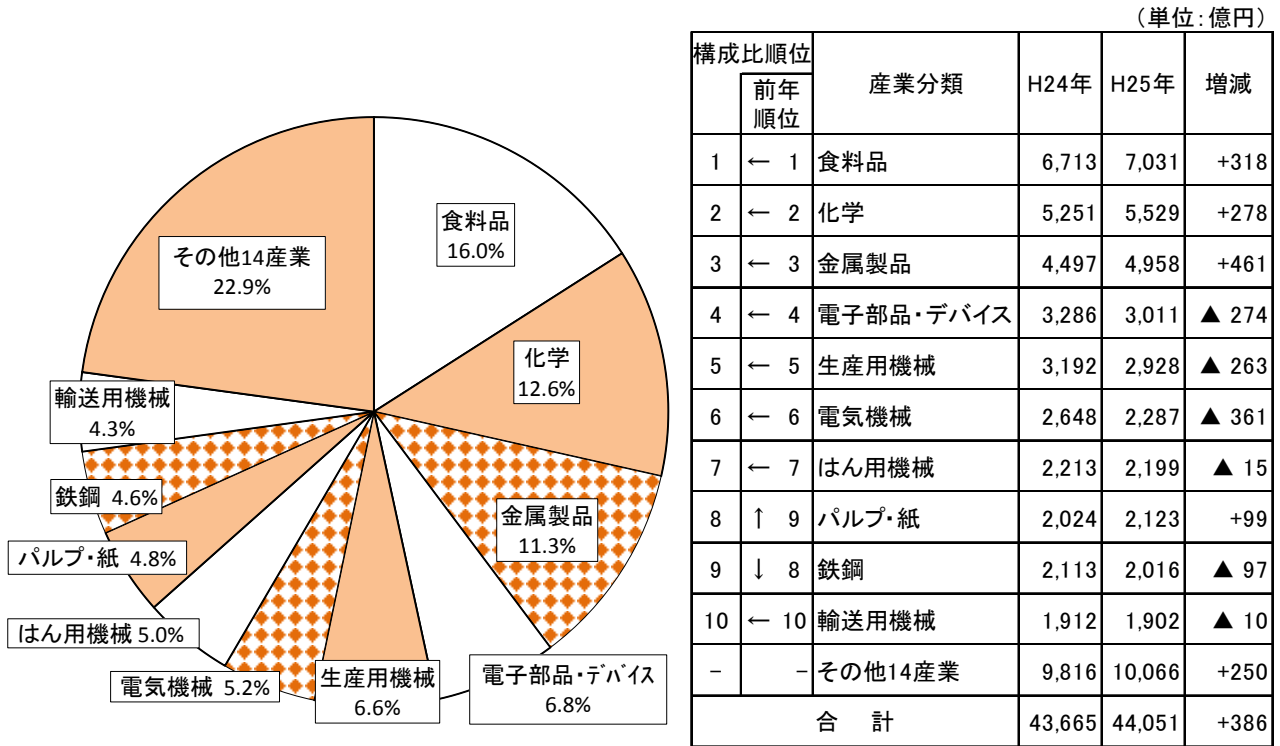
（増減の大きな上位5産業）

(3) 製造品出荷額等 ～上位3産業は食料品、化学、金属製品～

製造品出荷額等は4兆4,051億円で386億円増加（前年比+0.9%）しました。

産業別で製造品出荷額等が最も多いのは、食料品で7,031億円（構成比16.0%）、次いで化学が5,529億円（12.6%）、金属製品が4,958億円（11.3%）の順となっており、上位3産業は前年と同じ順位で、全体の約4割（39.8%）を占めています。

図6 製造品出荷額等の産業別状況（従業者4人以上の事業所・構成比順）



増加したのは、金属製品が+461億円（前年比+10.2%）、食料品が+318億円（+4.7%）、化学が+278億円（+5.3%）等、24産業中12産業でした。減少したのは、電気機械が▲361億円（▲13.6%）、電子部品・デバイスが▲274億円（▲8.4%）、生産用機械が▲263億円（▲8.2%）等、12産業でした。

表5 製造品出荷額等の増減の大きな産業（従業者4人以上の事業所）

(単位: 億円、前年比は%)

増 加					減 少				
産 業	H24	H25	増加数	前年比	産 業	H24	H25	減少数	前年比
金属製品	4,497	4,958	+461	+10.2	電気機械	2,648	2,287	▲ 361	▲ 13.6
食料品	6,713	7,031	+318	+4.7	電子部品・デバイス	3,286	3,011	▲ 274	▲ 8.4
化学	5,251	5,529	+278	+5.3	生産用機械	3,192	2,928	▲ 263	▲ 8.2
木材・木製品	295	436	+141	+47.8	鉄鋼	2,113	2,016	▲ 97	▲ 4.6
プラスチック製品	1,544	1,645	+101	+6.6	業務用機械	1,467	1,403	▲ 64	▲ 4.4

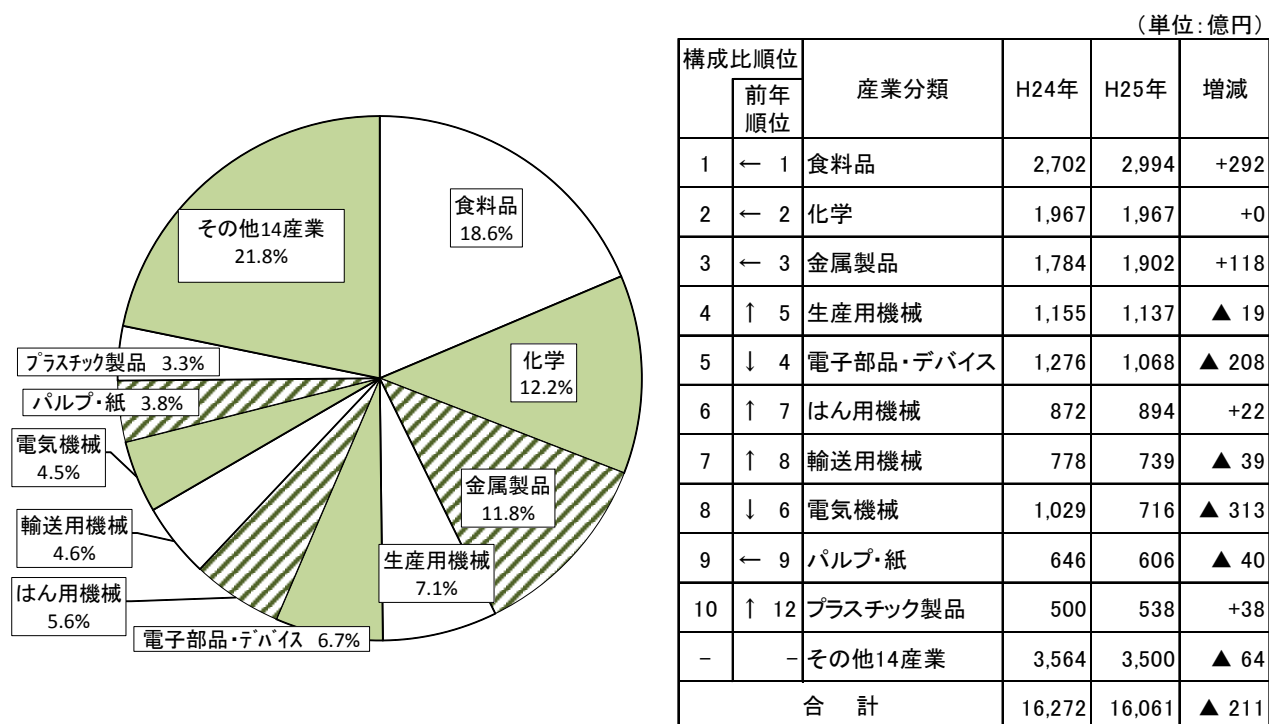
(増減の大きな上位5産業)

#### (4) 付加価値額 ～上位3産業は食料品、化学、金属製品～

付加価値額は1兆6,061億円で211億円減少（前年比▲1.3%）しました。

産業別で付加価値額が最も多いのは、食料品で2,994億円（構成比18.6%）、次いで化学が1,967億円（12.2%）、金属製品が1,902億円（11.8%）の順となっており、上位3産業は前年と同じ順位で、全体の約4割（42.7%）を占めています。

図7 付加価値額の産業分類別状況（従業者4人以上の事業所・構成比順）



増加したのは、食料品が+292億円（前年比+10.8%）、金属製品が+118億円（+6.6%）、木材・木製品が+41億円（+38.7%）等、24産業中11産業でした。減少したのは、電気機械が▲313億円（▲30.4%）、電子部品・デバイスが▲208億円（▲16.3%）、業務用機械が▲81億円（▲15.3%）等、13産業でした。

表6 付加価値額の増減の大きな産業（従業者4人以上の事業所）

（単位：億円、前年比は%）

増 加					減 少				
産 業	H24	H25	増加数	前年比	産 業	H24	H25	減少数	前年比
食料品	2,702	2,994	+292	+10.8	電気機械	1,029	716	▲313	▲30.4
金属製品	1,784	1,902	+118	+6.6	電子部品・デバイス	1,276	1,068	▲208	▲16.3
木材・木製品	105	145	+41	+38.7	業務用機械	529	448	▲81	▲15.3
プラスチック製品	500	538	+38	+7.5	パルプ・紙	646	606	▲40	▲6.2
情報通信機械	301	332	+31	+10.3	輸送用機械	778	739	▲39	▲5.0

（増減の大きな上位5産業）

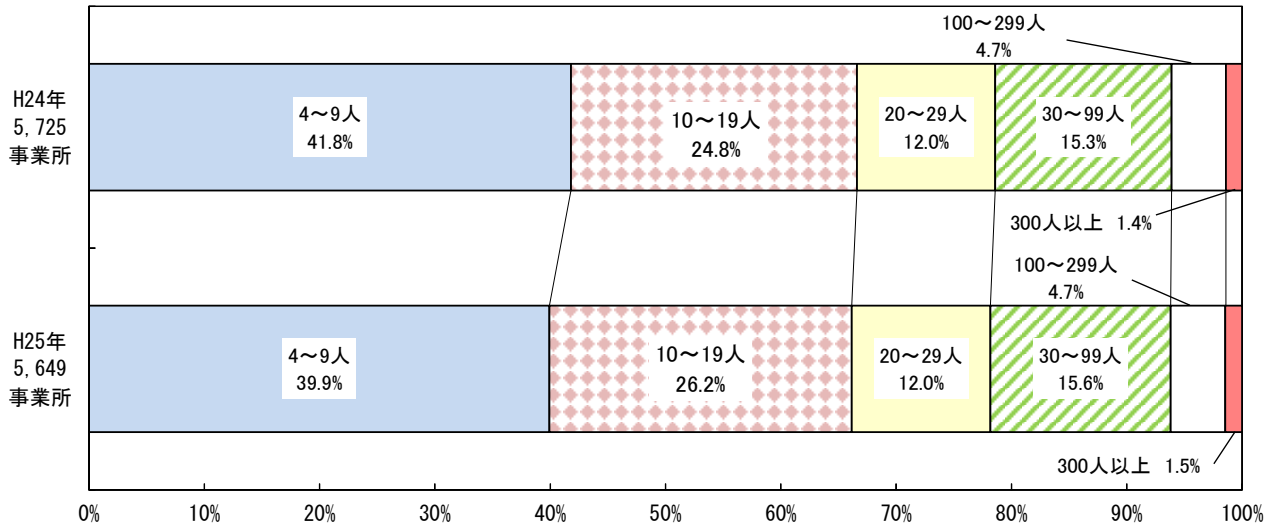
### 3 従業者規模別の状況

#### (1) 事業所数 ～4～9人の事業所が約4割を占める～

従業者規模別で事業所数が最も多いのは、4～9人で2,255事業所（構成比39.9%）、次いで10～19人が1,481事業所（26.2%）、30～99人が883事業所（15.6%）の順となっており、4～9人の事業所が全体の約4割（39.9%）を占めています。

増加したのは、10～19人（前年比+4.3%）、300人以上（+2.5%）、30～99人（+0.8%）でした。  
減少したのは、4～9人（▲5.8%）、20～29人（▲0.9%）、100～299人（▲0.7%）でした。

図8 事業所数の従業者規模別構成比（従業者4人以上の事業所）

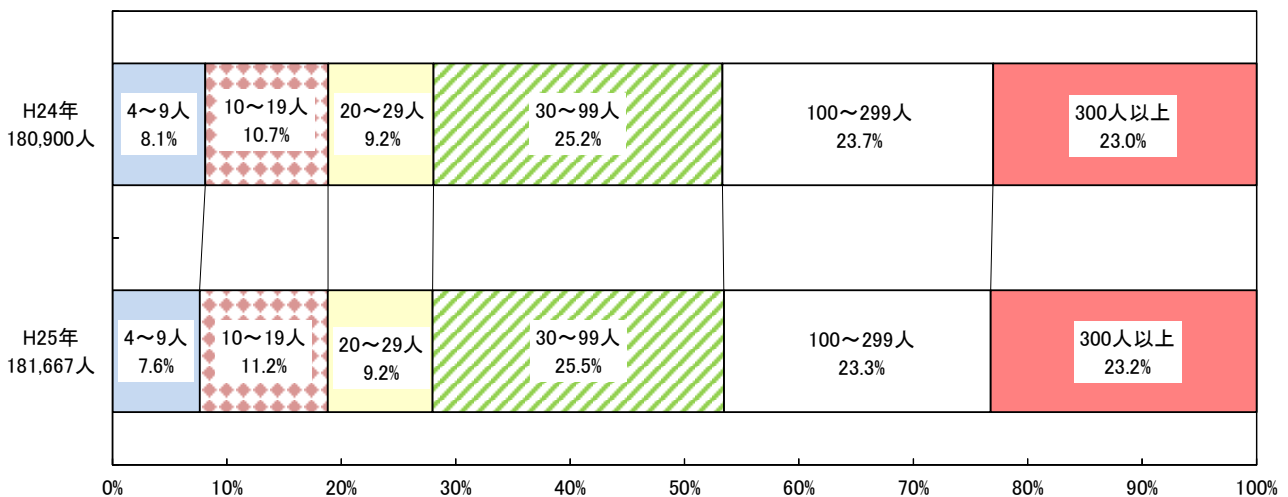


#### (2) 従業者数 ～100人以上の事業所が約4割を占める～

従業者規模別で従業者数が最も多いのは、30～99人で46,263人（構成比25.5%）、次いで100～299人が42,351人（23.3%）、300人以上が42,223人（23.2%）の順となっており、100人以上（100～299人及び300人以上）の事業所が全体の4割以上（46.6%）を占めています。

増加したのは、10～19人（前年比+4.7%）、300人以上（+1.4%）、30～99人（+1.3%）でした。減少したのは、4～9人（▲5.6%）、100～299人（▲1.0%）、20～29人（▲0.1%）でした。

図9 従業者数の従業者規模別構成比（従業者4人以上の事業所）

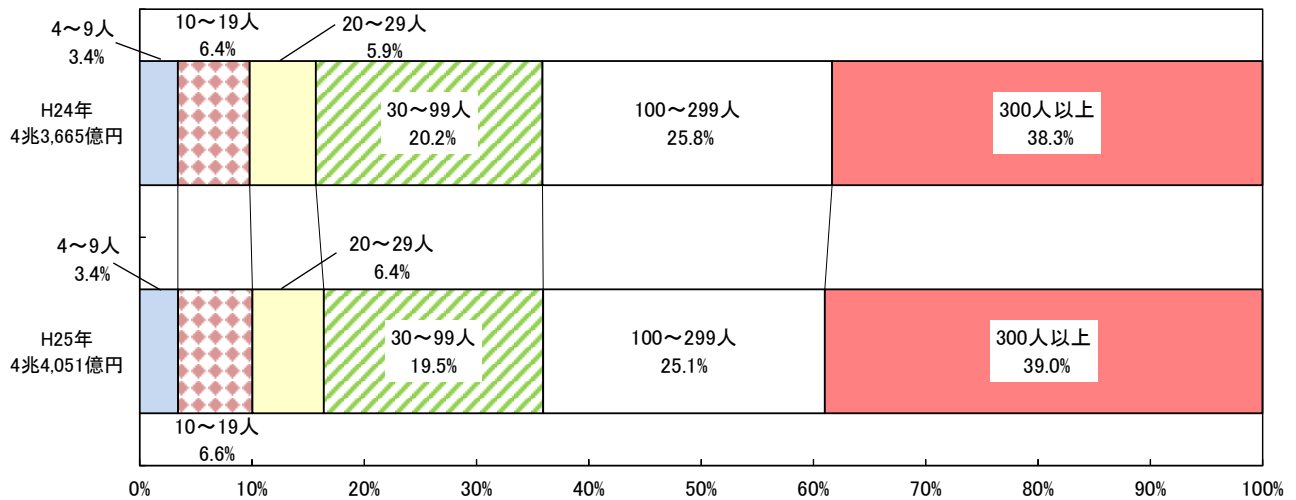


### (3) 製造品出荷額等 ～300人以上の事業所が約4割を占める～

従業者規模別で製造品出荷額等が最も多いのは、300人以上で1兆7,168億円（構成比39.0%）、次いで100～299人が1兆1,045億円（25.1%）、30～99人が8,610億円（19.5%）の順となっており、300人以上の事業所が全体の約4割（39.0%）を占めています。

増加したのは、20～29人（前年比+8.6%）、10～19人（+4.5%）、300人以上（+2.6%）、4～9人（+1.4%）でした。減少したのは、30～99人（▲2.3%）、100～299人（▲1.9%）でした。

図10 製造品出荷額等の従業者規模別構成比（従業者4人以上の事業所）

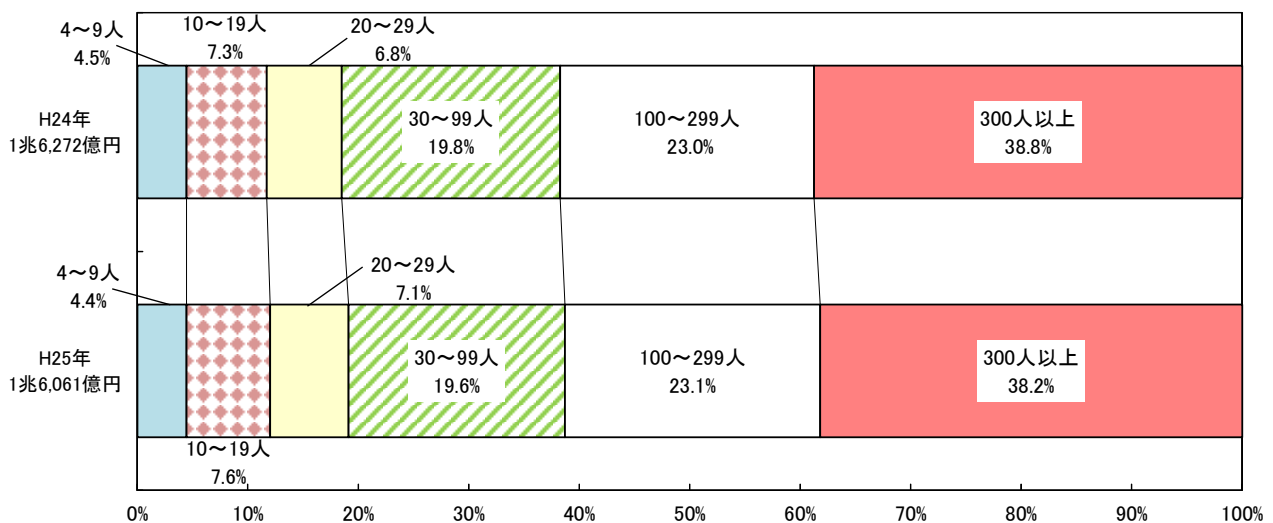


### (4) 付加価値額 ～300人以上の事業所が約4割を占める～

従業者規模別で付加価値額が最も多いのは、300人以上で6,134億円（構成比38.2%）、次いで100～299人が3,712億円（23.1%）、30～99人が3,143億円（19.6%）の順となっており、300人以上規模の事業所が全体の約4割（38.2%）を占めています。

増加したのは、20～29人（前年比+3.3%）、10～19人（+3.0%）でした。減少したのは、300人以上（▲2.7%）、30～99人（▲2.3%）、4～9人（▲1.4%）、100～299人（▲0.7%）でした。

図11 付加価値額の従業者規模別構成比（従業者4人以上の事業所）











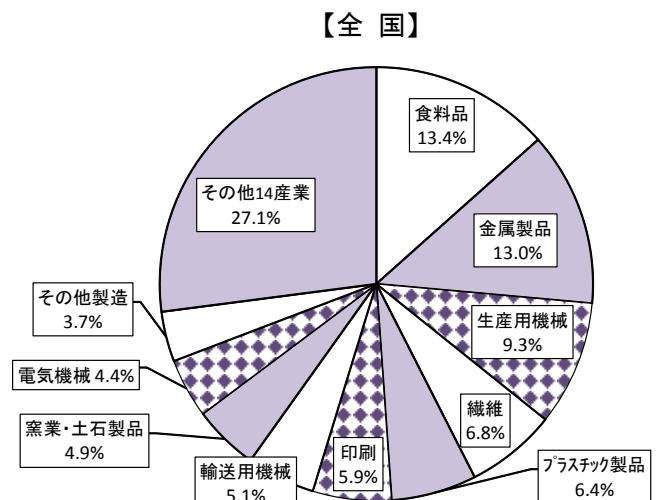
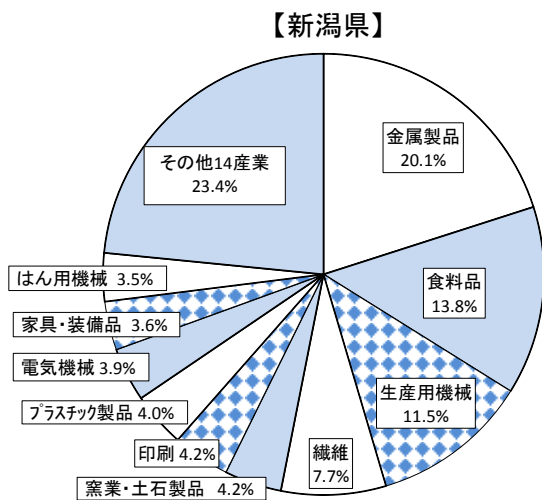
## 5 全国値との比較

### (1) 事業所数 ～本県と同様に全国値も減少（▲3.8%）～

全国の事業所数は208,029事業所で、8,233事業所減少（前年比▲3.8%）しました。これは本県（▲1.3%）と同様の傾向です。

全国で事業所数が最も多い産業は、食料品で27,914事業所（構成比13.4%）、次いで金属製品が27,068事業所（13.0%）、生産用機械が19,400事業所（9.3%）の順となっています。

新潟県				全国			
H24	H25	増減	前年比	H24	H25	増減	前年比
5,725事業所	5,649事業所	▲76事業所	▲1.3%	216,262事業所	208,029事業所	▲8,233事業所	▲3.8%

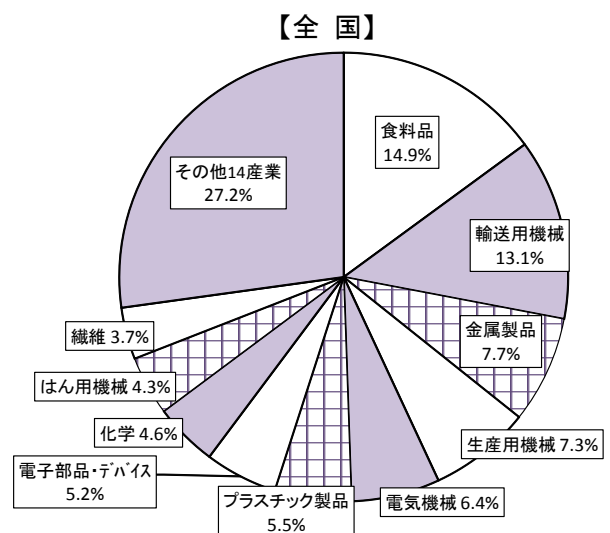
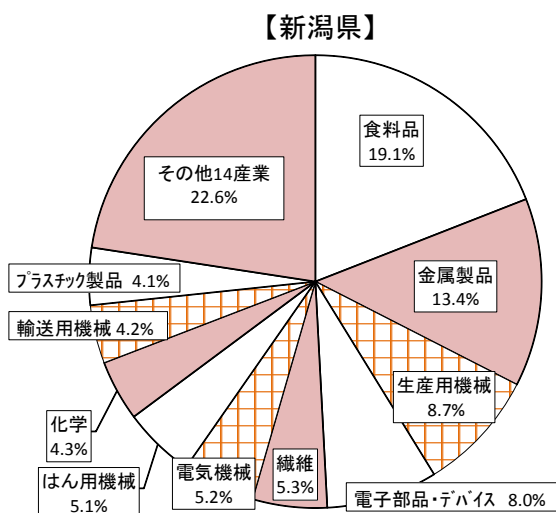


### (2) 従業者数 ～本県で増加する一方、全国値は減少（▲0.3%）～

全国の従業者数は7,402,984人で、22,355人減少（前年比▲0.3%）しました。これは本県（+0.4%）と異なる傾向です。

全国で従業者数が最も多い産業は、食料品で1,105,813人（構成比14.9%）、次いで輸送用機械が966,741人（13.1%）、金属製品が571,976人（7.7%）の順となっています。

新潟県				全国			
H24	H25	増減	前年比	H24	H25	増減	前年比
180,900人	181,667人	+767人	+0.4%	7,425,339人	7,402,984人	▲22,355人	▲0.3%

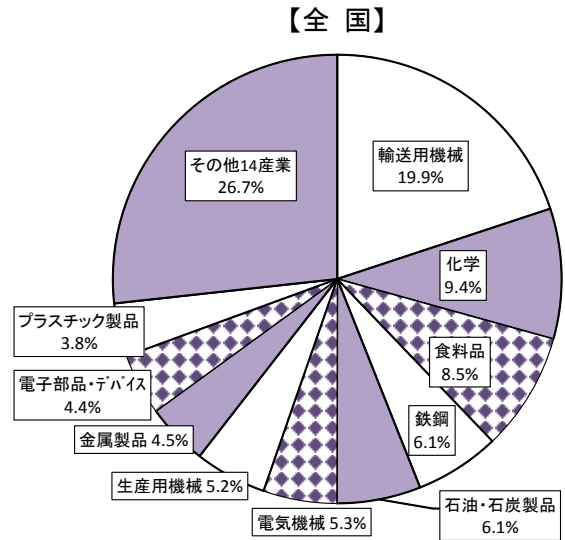
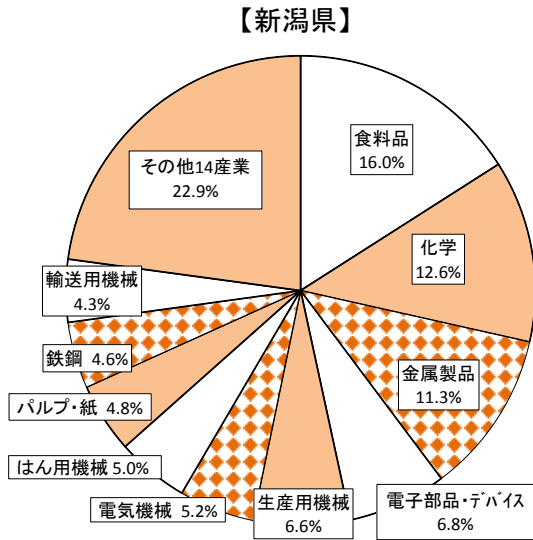


**(3) 製造品出荷額等 ～本県と同様に全国値も増加（+1.2%）～**

全国の製造品出荷額等は292兆921億円で、3兆3,645億円増加（前年比+1.2%）しました。これは本県（+0.9%）と同様の傾向です。

全国で製造品出荷額等が最も多い産業は、輸送用機械で58兆2,032億円（構成比19.9%）、次いで化学が27兆4,092億円（9.4%）、食料品が24兆9,481億円（8.5%）の順となっています。

新潟県				全国			
H24	H25	増減	前年比	H24	H25	増減	前年比
43,665億円	44,051億円			+386億円	+0.9%		



**(4) 付加価値額等 ～本県で減少する一方、全国値は増加（+2.0%）～**

全国の付加価値額は90兆1,489億円で1兆7,542億円増加（前年比+2.0%）しました。これは本県（▲1.3%）と異なる傾向です。

全国で付加価値額が最も多い産業は、輸送用機械で16兆2,593億円（構成比18.0%）、次いで化学が10兆1,351億円（11.2%）、食料品が8兆6,450億円（9.6%）の順となっています。

新潟県				全国			
H24	H25	増減	前年比	H24	H25	増減	前年比
16,272億円	16,061億円			▲211億円	▲1.3%		

